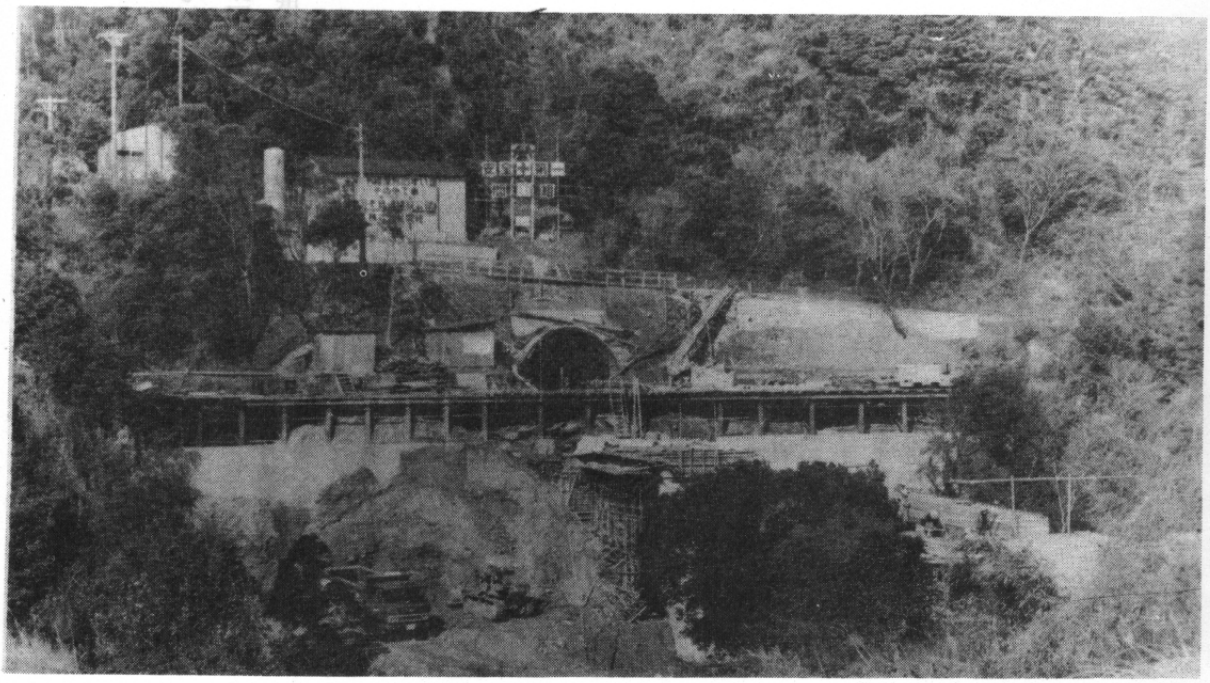
町報 よぶこ

発行／呼子町・編集／企画課・印刷／唐津印刷有限会社

町勢

昭和46年2月末現在
住民基本台帳による

人口	男	3840人
	女	4171人
	計	8011人
世帯数		1910世帯
一戸平均		4，19人



▲屋形石隧道及び橋りょう工事

着々のびる鉄道路線

大友―呼子駅間路盤工事は完成

国鉄呼子線の工事が急ピッチで進められております。既に用地買収の終った大友―呼子駅間の路盤工事は昭和四十五年度で第二呼子鉄橋を残し完成します。その中に呼子隧道の二一七米、第一大友隧道の二〇五米、第二呼子隧道の八六米が含まれております。現在工事の主力は唐津地区に移り今日の時点では写真でおわかりのように屋形石隧道一一四二米の堀さく工事が大々的に進められています。

唐津地区の用地買収も、屋形石地区、相賀地区が既に済み浦地区が今年になって調印するなど着々と推進されており昭和四十八年度開通を目標に力強くすすめられております。

呼子町4月の潮汐表

日	曜	旧暦 月	旧暦 日	月	高潮 午前 時刻	高潮 午前 潮高	高潮 午後 時刻	高潮 午後 潮高	低潮 午前 時刻	低潮 午前 潮高	低潮 午後 時刻	低潮 午後 潮高
1	木	3	6	N	0.47	146	0.08	177	6.10	78	7.36	39
2	金		7		1.46	123	0.43	157	6.47	93	9.00	58
3	土		8	☽	4.10	110	1.40	139	7.57	106	11.04	62
4	日		9		6.20	121	4.44	131	9.35	107	※	※
5	月		10		6.56	131	6.24	143	0.36	56	0.26	92
6	火		11		7.22	144	7.10	156	1.17	47	1.08	72
7	水		12		7.46	156	7.46	168	1.44	41	1.40	55
8	木		13	AE	8.09	170	8.18	177	2.06	36	2.11	37
9	金		14		8.34	181	8.51	185	2.28	34	2.42	24
10	土		15		8.59	191	9.24	190	2.52	33	3.12	14
11	日		16	○	9.24	197	9.56	190	3.16	35	3.42	9
12	月		17		9.48	199	9.29	185	3.42	40	4.13	8
13	火		18		10.13	198	11.02	177	4.08	48	4.43	12
14	水		19		10.37	196	※	※	4.36	59	5.13	18
15	木		20		11.37 11.13	166 191	※	※	5.01	69	5.49	27
16	金		21	S	0.17 11.34	150 181	※	※	5.31	80	6.34	38
17	土		22		1.08	136	0.15	171	5.14	92	7.40	49
18	日		23	☾	2.34	127	1.22	157	7.27	100	9.13	56
19	月		24		4.33	130	3.21	150	9.17	100	10.52	51
20	火		25		5.45	145	5.17	159	11.04	85	※	※
21	水		26		6.31	163	6.30	176	0.01	42	0.17	62
22	木		27	E	7.10	180	7.26	193	0.53	34	1.12	36
23	金		28		7.48	197	8.15	203	1.36	28	2.00	13
24	土		29	P	8.24	211	9.00	210	2.16	27	2.45	−3
25	日	4	1	●	8.59	220	9.44	207	2.54	31	3.29	−13
26	月		2		9.34	222	10.26	199	3.31	40	4.13	−15
27	火		3		10.08	220	11.08	185	4.07	50	4.57	−7
28	水		4	N	10.42	212	※	※	4.43	62	5.41	4
29	木		5		11.54 11.16	168 193	※	※	5.18	74	6.27	23
30	金		6		0.39	150	11.53	181	5.56	85	7.18	42

●…朔　☽…上弦　○…望　☾…下弦　A…遠地点　P…近地点　S…最南
N…最北　E…赤道上　※…その欄に相当する潮候の存在しないことを示す

議会通信

昭和46年度当初予算案決まる

一般会計予算四億二千二百万円

昨年度当初予算より177%増

昭和四十六年度の呼子町予算を審議する定例町議会が三月十一日から五日間の会期で召集されました。

提出されました予算総額は一般会計で四二二、一二五千円、特別会計で一四二、一一一千円で合計六億になんなんとする予算であります。又今議会は現議員任期中の最後の議会となるもので、終始熱心に慎重審議がなされました。まず才一日目は四十五年度補正予算条例改正等が上程され、これが審議と町政に対する一般質問が行なわれ、伊藤重義議員他六議員から次の要旨の質問がありました。

1、学校教育に対する町民の声について
2、離島民の足である航路補助について
3、持山の国道二〇四号線と横竹小友線の交差点の改良について
4、町が取得処分する物件について、法に決められた金額面積以下のものについての報告、又取得処分の場合の附近所有者の意向聴取について
5、松浦町海岸の駐車場建設の進行状況について
6、老人ホームの規模、運営方法場所について
7、福祉資金の貸付について町民への周知と、その利用運営面の改善について
8、過疎対策として本町経済を浮揚させる具体的産業振興の対策について
9、離島の水道計画と、呼子の水道拡張事業は先行投資と考えられ、その分を料金にかぶせず一般会計で補塡することについて
10、診療所の医師確保について
11、愛宕町駐車場の清掃について
12、老人医療費の無料化について
13、呼子港内愛宕町附近に船溜の設置について

以上の質問に対し町長から

一、教育については一番関心をもって配慮している。

二、持山の道の件は所有者と交渉し解決したい。

三、離島航路については回数の増便、速力の向上等渡船業者と話し合い、何等かの処置を考え努力したい。

四、物件取得処分については、法律に基づいて町も規定しているが運用面については町民感情を考え審議会に諮問等の方法、ケースバイケースでやっている。

五、殊に外来者の不自由のないよう駐車場の設置を県に相談し補助を得て作る計画であるが、漁業権者の同意を得られるよう今後解決に努めたい。

六、老人福祉の問題では年金と共に考慮し、その第一着手として養護老人ホームを作る。

七、福祉資金貸付では県も近い将来改正の見込のようであるし町も県の指導があれば改正したい

八、過疎対策では地元に定着する産業振興が根本であり、それについて今後努力を重ねて行きたい。

九、水道料は拡張による、しわよせが来るが新しい受益地のみに負担はさせられない。現在の処まだ値上げは考えていない。離島の水道は島の開発と共に解決しなければならないが、まず島の受益者が水道に対する考え方を改め、料金負担衛生面等を考えてもらい四十七年以降進めていきたい。

十、医師の後任者は依頼中だが、その間の前後策は検討中である

十一、老人福祉については、国の施策と共に順次進めて行きたい

十二、船溜については、港内を広く利用する意味からも老朽船の処理等今後公害問題として県の処置をまち、漁船の入り易くなるようにと考えている。

との答弁があり、ついで四十六年度予算案の上程並びに施政方針の発表があった。

◎四十六年度町政に対する施政方針。

四ヵ年の議員の任期中町政に対する御協力を感謝し今後の御健斗により又の再会を期待したい。来年度においては、まず文化財保護条例、これは大友加部島等の古跡を放置されないので保存のため制定する、次に全国的すう勢から老人に対する高齢者年金支給条例を作り、加えて養護老人ホームの建設にもかゝりたい。又前向きに子供を養育する為と日本民族の将来の為にも才四子以上には義務教育終了まで児童手当を支給したい。

四十六年度はまず一歩であるが、今後その額を引上げて行きたい。

その他来年度で主なものは、都市計画道路で持山から駅前広場に通づる街路が予算化される。新しく三ヵ年計画で呼子町内の地籍調査を実施する。漁港関係ではフェリー基地と魚市場間が連絡する。予算外では県営の避難港防波堤が三億六千万で出来、四十七年度には中防波堤、四十八年度には加部島側防波堤が完成予定である。観光関係で駐車場とポンツーン（浮桟橋）の建設、学校関係では呼子小学校に淡水プールの建設、それと完全給食の施設も作る。以上のことから、予算総額も四億二千万円と町政始まって以来の大きな金額となった。しかし問題がないわけでもなく、交付税、町税等歳入財源も伸びるが人件費等の伸びから仲々苦しい財政であり、充分留意して予算執行に当たりたい。予算外に開発公社の予算も参考までに出しているので、よろしく御審議方を、お願いする。

以上施政方針を終り、次いで議案審議に入り

呼子町一般会計及び特別会計予算　（単位：千円）

予算名	46年度予算額	45年度予算額	比較(%)
一般会計予算	422.125	238.038	177.3
特別会計内訳			
国民健康保険	87.130	79.462	109.6
上水道事業	16.614	10.333	160.9
授産事業	4.255	4.775	89.1
宅地造成事業	288	407	70.8
小川島診療事業	8.144	7.339	111.0
国民宿舎	25.680	20.525	125.1
特別会計総計	142.111	122.841	115.7

一、離島航路センター建設工事請負契約締結議案一件
一、一般職、特別職の諸給与条例（主に旅費）の改正七件
一、条例制定四件
一、職員定数条例及び清掃条例の改正二件
一、四十五年度予算補正四件
一、四十六年度一般、特別会計予算七件

以上合計二十五件の議案を上程し、四十六年度予算案を残して、全議案を可決して才一日目を終り二日目より、予算特別委員会を設置し、委員長に藤原棟雄副議長を選出、三日間の予算審議を続行、最終日三月十五日予算案を藤原委員長の委員会報告通り、承認して可決閉会した。

◎一般会計予算の具体的内容

○総務費

交通安全指導員設置条例の制定により、学校生徒の登下校の安全又啓蒙宣伝に協力の為指導員を設置すると共に安全施設を行なう。

○民生費

新規に高齢者年金八十才以上の老人に年額三千円、同じく児童の健全な育成の為義務教育終了前の児童四名以上扶養の場合、三人をこえた児童一人に対し年額二千円を支給する。

○農林水産業費

四十六年から三ヵ年事業として桃山公園裏から弁天島間に通ずる殿ノ浦幹線農道を計画、本年度は巾員六米延長四二〇米が出来上る。水産関係では漁業信用基金協会出資金一〇万円の他利子補給金等計上され、漁港では小友海岸保全事業が四十六年度で完成する。

○商工観光費

商工関係者の資金を円滑にするため信用保証協会出資金一〇万円と観光面で松浦町海岸に駐車場建設の継続と、グラスボート用のポンツーンの建設を予定している。

○土木費

町道舗装整備は五ヵ年計画による才二年度として過疎対策、広域圏行政とも関連して工事が進められる。港湾建設では離島航路センターが完成する。都市計画街路では持山から駅前まで四六〇米が舗装され、その先陸橋まで拡巾改良される、公害住宅も十戸建設を予定している。

○教育費

児童生徒の課外の非行防止の為校外指導員を委嘱し、青少年の育成に務め、社会教育関係では文化財保護の立場から文化財調査委員の委嘱と、加部島の遺跡発掘が計画されている。

（議会事務局）

歳入

予算課目	46年度予算額	総額に対する比	45年度予算額	前年度に対する比
町税	37.561	8.9%	28.355	132.5%
自動車取得税	1.799	0.4	1.504	119.6
地方交付税	174.763	41.4	105.978	164.9
交通安全対策交付金	52	0.0	0	—
分担金負担金	8.776	2.1	9.584	91.6
使用料手数料	6.850	1.6	3.673	186.5
国庫支出金	80.858	19.2	44.904	180.1
県支出金	34.685	8.2	11.643	297.9
財産収入	229	0.0	217	105.5
寄付金	2.343	0.6	4.840	48.4
繰越金	5.000	1.2	3.000	166.7
諸収入	17.109	4.1	13.336	128.3
町債	52.100	12.3	11.004	473.5
合計	422.125	100	238.038	177.3

歳出

予算課目	46年度予算額	総額に対する比	45年度予算額	前年度に対する比
議会費	9.536	2.3	6.690	142.5%
総務費	47.256	11.2	35.471	133.2
民生費	105.569	25.0	37.678	280.2
衛生費	8.566	2.0	5.980	143.2
農林水産業費	77.977	18.5	58.412	133.5
商工費	16.095	3.8	2.718	592.2
土木費	66.649	15.8	41.752	159.6
消防費	4.568	1.1	2.861	159.7
教育費	58.748	13.9	24.754	237.3
災害復旧費	51	0.0	60	85.0
公債費	26.299	6.2	20.851	126.1
諸支出金	11	0.0	11	100
予備費	800	0.2	800	100
合計	422.125	100	238.038	177.3

呼子町開発公社
駅前用地造成はじまる

呼子町開発公社事業として、国鉄呼子駅前広場および駅前住宅団地造成のため、去る三月八日社会体育館において建設業四社による競争入札を行ない、松尾建設株式会社が三千四百九十万円で落札しました。

今まで海岸線にそって形成されていた呼子町に新らしい生活圏が誕生することになりました。

四十五年度の工事分は五月末まで、水道引込等の附帯工事は四十六年度中頃までに完成の予定となっています。

国土を緑に!!

国土緑化運動の時期となりました。この運動は、募金運動を通じて植林を進め、水源の安定や木材の生産など、森林のもっている機能を十分に発揮させて、災害の防止、国民生活の安定、町の美化、大気の浄化と住民の健康増進に寄与するものであります。

空地があったら木を植えましょう。山にある木はいたずらに折ったり切ったりしないで大切にして下さい大きくなるまでには長い年月がかかっているのです。緑につつまれ、自然に調和した美しい町、住む人の心は情緒豊かに、少年達はおおらかで素直に明るく育つことでしょう。

緑の羽根
募金運動に
御協力下さい。

未来の呼子町？

地方自治法の改正によって、全国の各市町村は、新長期総合開発基本構想を定めて、これに基づいて昭和六十年までの十五年間に町はどのような変りかたをしなければならないのか、その頃はどんな町になっているのかを考えて行政をしなければならなくなりました。

呼子町新長期総合開発計画の素案作成にあたって、次代のにない手である小、中学校の児童生徒に未来の呼子の想像図や作文を書いてもらいました。

どれを見てもよく書けていて順位はつけられませんでしたが、想像図は中学校の校長先生や素案作成の十八人の係に着想六分、画が四分の割合で審査してもらいました結果次に記載した人々を入賞と決めました。

作文は六名の応募で全員入賞、大体みんな同じ様な考えに見受けられるので代表的な人のを二点あげました。図画は全員の作品をカラーでおみせ出来ないのが残念ですし作文も紙面の都合で全部紹介出来なくて申訳ありません。後日社会体育館に展示することにしています。

▲呼子小　須川義則
こまかいところまで念入に画いてあり特に音戸大橋にヒントを得たらせん橋が生きている

こう害のない三十年後の呼子町

呼子小五年　柴田真美子

今から、三十年後までの三十年間に、呼子町が、どう進歩するかということは、今の町長さんや町かい議員さんが、せおう問題ではなく、新しい私たちが、せおう問題だと、私は、思います。

私たちの努力しだいで、呼子町が、よくなるか、悪くなるか、きまるのです。今、私たちは、一日一日、新しい呼子町を造り出すために、勉強しているのです。

今は、こう害問題で、有名になっている町がありますが、そんな町にだけは、したくは、ありません。

緑にあふれた町、きれいな、魚がいっぱいの海、すみきった青空それでいて、品物やなにかには、ぜんぜん不自由しない幸福な毎日それが、ゆめにまでみた、私たちの呼子町だと思います。

昔は、いまの四倍もの魚がとれたという。

でも、今は、昔の四分の一しか魚がとれないということは、あまり小さい魚のうちからとってしまったからでしょう。

だから、魚のようしょくをするというのも私のゆめのうちの一つです。

車は、はいきガスのでない車を造り出したらどうでしょうか？

今の呼子町は、車が、だんだん多くなって車のそばにたっているだけで、けむったくなります。だから、そんな車を造り出し、愛ようすれば、どんなに、いいことでしょう。

何も、発てんだけが幸福ではありません。

すみきった青空の下で、きれいな空気をすいながら、緑としぜんをみて生活する、それが、人間のほんとうの幸福だと私は思います。

◀生活圏、生産圏その他施設がはっきり分れ、合理的に書いてあります。
加部島小　里口　弘・金丸重男・平松弘紀・金丸安男
杉　安市・松本浩之・合作

三十年後の呼子町

呼子小五年　田川　英生

三十年後の呼子というと、二十一世紀でオートメーション方式のゆめのような町なみを予想するのがふつうだが、呼子町はどうか書いてみることにした。

呼子町は漁業と観光が主産業だだから工業は、あまり発達しないと思う。が、まず産業のことからかくことにした。

まず漁業である。漁業は、今取る方から育てる方へ変りつつある。だから海底に、魚の大海中牧場や

アパートを作り、魚をふやすことを中心にするようになると思う。

次に、観光地としての発達である。呼子は海が売り物だから海中公園、海中てん望台を作り海の自然美をうます生かすのである。なんでも手軽にし、海中公園にはずくにいけるようにする。

これが大まかに見た、産業のようすだ。

次に、地区別にわけた町のようすを書くことにした。

加部島など離島＝まず人々は、全部陸に入れ呼子から橋や、鉄道などを通し、手軽に行ける遊園地にする。

殿ノ浦＝今まで通りの旅館がいにする。が、今までのような物でなく、高そう建ちくの建ちならぶホテルがいにし、遊園地、海中公園にすぐいけるようにする。

愛宕町～先方＝愛宕町～松浦町にはデパートの建ちならぶ商店がいにする。天マ町～先方までは、高そう建築の団地、その回りには安全せつびのゆきとどいた高速道路を造る。役所には〝呼子町を一望にする呼子タワーを作り観光しせつに加える。

以上のことがぼくの予想の三十年後だが、ぼくたちの力でもっとすばらしい呼子町を造り出したいと思う。

入賞者（図画）

呼子小学校

宮崎修一、寺岡保、入江隆喜、熊本典夫、山本多久美。

笹部多美子、浪口章子、丸井由美（以上三名合作）。

加茂昌克、川崎吉彦、白浜喜久寿（以上三名合作）

田川英生、明松勉、浜崎豊治（以上三名合作）

加部島中学校

杉喬茂、向信久、金丸新一、杉きよ子、金丸とよみ（以上五名合作）

加部島小学校

金丸利昭、杉誠致、森伝一、辻村秀雄（以上四名合作）

（作文）

呼子小学校　田川祥子、山口信治

柴田尚子、近藤順子。

大切な一票を生かす

不在者投票の仕方

四月は統一地方選挙の月です。選挙の投票日に次のような理由で投票所に行けない人は、投票日の前に投票ができます。これが不在者投票の制度です。

㈠　投票当日、他の市町村で仕事に従事している場合、または同じ市町村内でも自分の投票区とちがう所で仕事をしなければならない場合。出稼ぎ、出張、出漁、店の品物仕入れ等仕事の内容は色々あります。

㈡　投票当日、やむを得ない用務で自分の市町村以外の地に旅行または滞在する場合。親類の法事新婚旅行等。

㈢　病気、負傷、妊娠などのため投票日に投票所まで歩くことが困難なとき。

不在者投票は、選挙の告示の日から投票日の前日までの間に行なうことができ、投票用紙の請求は自分の名簿のある市町村に対して告示日の前でもできることになっています。

なお、不在者投票をするとき、これまでは、市町村長、やとい主医師などの証明書が必要でしたがさきに規則が改正され今後は本人が宣誓書に理由を書いて出すだけでよいことになり、大変簡単になりました。

不在者投票の仕方について代表的な例を二つあけて説明してみましょう。

①自分の住所地で不在者投票する場合。

Aさんは呼子町の商店主で、投票日の前日から大阪へ商品仕入れにでかける予定です。Aさんの場合は、告示日以後に呼子町選挙管理委員会（役場内）へ出向き、そなえつけの宣誓書に理由を書き込んで投票用紙を請求すればその場ですぐ投票されます。

②現に仕事や用務で滞在している所で不在投票する場合

Bさんは、呼子町の人で以前から名古屋へ出かせぎに行っています。むろん投票日も帰ってこれません。この場合、Bさんは名古屋市選挙管理委員会にそなえている宣誓書に理由などの所要事項を記入のうえ、呼子町へ送り、名古屋市で不在者投票したい旨申し出ます。呼子町選挙管理委員会では、選挙の告示日になってすぐ投票用紙をBさんの手元に送りますのでBさんはそれをもって名古屋市選挙管理委員会へ行き、そこで投票することができます。名古屋市選管ではその投票をすぐ呼子町へ送ってくれますが、それが投票日の午後六時までには着かなければならないので不在者投票をする人は早目に請求し投票することが大切です。

不在者投票の仕方は複雑だといわれますが、今回の改正で証明書の提出が不要になるなど、大幅に簡略化されました。

この制度を活用して大切な一票をぜひ生かしてください。

選挙人名簿登録者数

昭和四十六年三月十六日現在

男　二千二百七十四名

女　二千七百七十四名

計　五千四十八名

（呼子町選挙管理委員会）

さようなら学舎

中学校卒業式

九年間の義務教育を終えて、今日は晴れの卒業式。楽しかったこと、つらかったこと、色んな思い出を残したがらも、将来の希望に胸をふくらまして、先生や参列の父兄それに大勢の在校生に送られてなつかしい母校の校門を出ました。

これから先もたゆまず努力を続け人生の栄光をかちとって下さい

呼子中学校　一七六名

加部島中学校　二〇名

小川中学校　二三名

昭和四十五年度

卒業生計二一九名

私の意見

先日私の長男がむっつりした顔で家に帰って来ました。「何があったのか」と尋ねてみたら「大人は全くなっていない。海にゴミを捨てている人があったので注意したら、お父さんの名前を言ってみろ、と叱られた」と憤然として申します。

美しい海にしようと呼びかけがあり、皆なお互に協力するのが当然なのに、わずかの不心得な人や、見ぬふりをする人があるために、いつまでたっても明朗な楽しい町にはなれません。

大人は範を示すべき立場でいやしくも子供から注意される様な大人ではありたくないものです。

O生

呼子港は港則法の適用を受けている港です。この港内において「みだりに」ゴミその他これに類するものを捨てた場合は、三ヵ月以下の懲役、又は三万円以下の罰金に処せられます。

註。「みだりに」とは社会通念上正当な理由があると認められない場合をいいます。また「みだりに」の概念とは回数および分量は要素となりません。一回であっても、たとえ小量であっても「みだりに」に該当するものです。

役場内担当課

「岸岳さん」の移転

「キシダケさんにさわるとたたらす」と言はれる、岸岳残党の墓が「やぶ神さん」として呼子のあちこちの小高い丘や、やぶの中にひっそりと祀られてあります。

呼子町の開発計画にそって、道路や住宅用地造成の工事を行なっている場所に祀ってある「やぶ神さん」は粗末に取り払らうことは出来ないので一ヵ所に合祀することになり徳須恵の法安寺住職を招き工事関係の役場職員が参列して現場で供養を行ないました。

国土調査が始まります

昭和四十六年度から、呼子町でも「国土調査」始められます。

これは国土の開発やその利用の高度化を計ると同時に地籍の明確を期するための実態を科学的総合的に調査するものです。

今の資料は明治十三年から明治二十二年頃までの約十年間に整備されたものだそうで、当時の技術から考えてみても今の様に正確ではなかったろうし、また長い年月を経ているので相当変った処もあるようです。これを現況地目に直したり境界をはっきりさせたり、所有者を確認するための仕事です

昭和四十六年度には大字殿ノ津・大友・小友・四十七年度に大字加部島・小川島・四十八年度に大字呼子の順に実施されます。

くわしいことは追つてお知らせすることになりますが、その節は御協力を御願い致します

（産業課）

▲キシダケさんの供養

明暗　お誕生

二月中届出分
順不同敬称略

前田親孝（長男・文雄）先方
田口一紀（長男・力）海士町
世戸貴敏（長男・丈夫）松浦町
河納美香（長女・博）松浦町
橋敏宏（長男・敬男）愛宕町
野尻正明（2男・国光）愛宕町
鈴木紀子（長女・健治）愛宕町
伊藤保幸（長男・富幸）殿岡
竹永重雄（3男・忠行）小友
日高美枝（長女・康二）小川島
武本伸彦（3男・昭）小川島

高砂や

谷口進　中町
松本尚子　宮ノ町
辻増雄　大和町
岡部都江　加部島

おくやみ

山下淳一　72歳　中町
熊本ギン　72歳　松浦町
松本弘泰　37歳　川端町
平山貞一　71歳　愛宕町
渡辺吉蔵　79歳　殿浜
石井サヨ　71歳　小川島
川添源重　67歳　小川島

佐賀県交通事故相談所の定期巡回相談所の開設

交通事故による損害賠償等でお困りの方は、左記の定期巡回相談所を御利用下さい。

顧問弁護士も無料で相談に応じています。

開設場所　唐津市役所

日時　毎月才二・才四木曜日

※当日休日の場合は翌日午前九時から午後五時まで

毎月第一日曜日は家庭の日（四月四日）

将来を父母と語ろう家庭の日